

# GTEC

Global Test of English Communication

**【大学入試英語成績提供システム】  
試験体制・検定料**

# GTEC

これまでGTECは、学校教育に寄り添い、学習指導要領に合致した英語検定として使える英語にこだわり、また指導と評価は一体のものであるという原則から、英語4技能として、コミュニケーションな英語力の測定を続けて参りました。

大学入試が「読む」1技能だけの時代から、「書く・話す」技能まで測定し、発信技能特有の採点において、量への対応・質の担保の両面を十分に行いながら検定の運用を続けてきております。学習指導要領を研究し尽くし続けた問題内容は、今まさに必要とされている4技能を総合的に育成する日本の英語教育に最も適した出題になっています。さらにスピーキングテストでは、全員が同日一斉実施で受検できる形式として、高いセキュリティを備えたタブレット端末での実施を行っております。

そしてこの度、大学入試英語成績提供システムへの参加に際し、大学入試選抜に活用される検定として、より高い公平性・公正性を担保し、また最も多くの会場を全国に設置する検定として運用を行う予定としております。

具体的には、スピーキングを含めた4技能の同日一斉実施を前提として、試験会場は全国47都道府県・約700会場を予定しています。全会場へ試験監督者の派遣する形式での会場設置、高セキュリティの専用タブレット端末の拡充をすることにより、少しでも多くの高校生に安心して受検いただける環境を整えていきます。

そのため検定料は、大規模・一斉実施の運営強化の費用（会場設営、試験監督者の派遣、不正防止等）、並びにスピーキングテストで使用するタブレット機器の調達に関連する費用に鑑み、受検者数の増加はある程度見込まれるものの、当価格に設定しております。

この検定料は、様々なコストを削減する努力を行うことにより、全員が受検する4技能検定の業界標準と比較しても、低廉な価格として設定することができております。経済的に困難な受検生への配慮として一定のルールに基づいた検定料の補助も当然として、全ての受検生にとって負担を軽減できると考えております。

但し、今後の文部科学省の動向調査を踏まえて、想定される受検者数等を考慮し、会場数の増加、また検定料についても引き続き検討して参ります。

タイプ	価格※税込
Advanced, Basic, Core	6,700円程度
CBT	9,720円

# GTEC 2020年度・4月～12月における複数回実施

2019年度からは4月～12月年3回以上の検定日を設定し、その後検定日を増やす予定です。なお、各検定日によって、受験可能なタイプを限定する可能性があります。

時期		4月～6月	7月～9月	10月～12月	合計
回数	Advanced	1回	1回	2回	4回
	Basic	1回	1回	2回	4回
	Core	1回		2回	3回
	CBT		1回	1回	2回